

n = 26

宮城県東部保健福祉事務所登米地域事務所

1 施設毎の受講者の状況

特養	老健	GH	障害者	有料老人	サ高住	その他(不明)
7	3	9	3	2	1	1

2 松永先生の講話は参考になりましたか。

とても参考になる	参考になる	取り組みが確認できた	参考にならない
17	9	0	0
100%			

<自由記載内容>

松永先生講義に対する感想・意見

- ① 学んだことをスタッフへ周知したいと思います
- ② 正しい知識を持つ。出来ていることはより強化し、出来ていないことは優先順位をつけて行っていく。
- ③ ウイルスに対しての正しい理解をすることが出来ました。また、対策の正しい方法を学ぶことが出来ました。
- ④ 管理するうえで理解しやすかった。
- ⑤ 改善できるところが確認できました。
- ⑥ スタッフに説明する際に、詳しく説明できる内容だった。

3 保健所所長の講話は参考になりましたか。

とても参考になる	参考になる	参考にならない	未記入
18	7	0	1
96%			

<自由記載内容>

保健所長の講義に対する感想・質問

- ① 学んだことをスタッフへ周知したいと思います
- ② 環境の整備を行う。手作りの布マスクではなく、サージカルマスクを使用する。感染の疑いがあれば、速やかに保健所に相談する。
- ③ 科学的根拠が重要だと感じました。過度に恐れず正しい対応が必要だと感じました。
- ④ 管理するうえで理解しやすかった。
- ⑤ **職員に発熱があり、抗体検査を受けた場合も報告必要ですか。** ⇒ 別添Q & Aで回答

4 施設での感染対策の取り組み状況

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	計
25	24	24	25	11	11	24	22	20	12	6	9	20	20	1	26
96.2	92.3	92.3	96.2	42.3	42.3	92.3	84.6	76.9	46.2	23.1	34.6	76.9	76.9	3.8	%

- ア 職員の検温や体調管理
- イ 感染マニュアルの見直し
- ウ 情報収集と職員への周知
- エ 手指消毒の徹底

オ 職場環境の整備（アクリル板設置など）

カ 1時間に1回の換気

キ 面会制限

ク 来訪者の健康確認

ケ 職場内研修

コ 発生時シミュレーションフロー作成

サ 対応可能職員の把握

シ 隔離やゾーニング（清潔・不潔区域分け）の準備

ス ビニールエプロン・マスク・手袋などの資材の備蓄

セ 清掃と消毒の徹底

ソ その他

50%下回った項目

5 感染対策で困っていることがあれば記載下さい。

- ① ゾーニングをどこで設置するか、様々な意見がありまとまっておりません。そのため発生時のシミュレーション等できていないのが現状です。どこまで徹底して行うか（ビニールカーテン、アクリル板の設置等）もいろんな意見があり、まとまり切れていないのでご指導頂ければ助かります。（老健）
- ② コロナウイルスの感染者が出た場合の対応について、検討したいと考えるが、まだ具体的な対応を考えられないでいるので、ぜひ、訪問指導をお願いします。（サ高住）
- ③ 入所者様が認知症状があるため、隔離やコロナウイルスの理解をすることが難しい状況である。
- ④ マスク、消毒液はあるが、手袋、エプロンがない。（GH）
- ⑤ 障害施設であるため、感染症の認識が出来ず、マスク等の使用についても、なかなか利用者の装着は出来ない状況になっている。又、集団での行動が多い。
- ⑥ 手袋がなかなか手に入らなくなっている。使用しないと言う事は、出来ないので非常に困っています。（GH）
- ⑦ マスクはある程度確保できたが、手袋の備蓄が難しくなっている。（GH）
- ⑧ 入所フロアの食事他の蜜をどう改善するか工夫しているところですが、難しい。今回の研修からもう一度みんなで話し合い、より蜜を予防するよう取り組んでいきたい。（老健）
- ⑨ 資材の備蓄が必要数出来ない状況である。（老健）
- ⑩ 入浴介助時のマスク着用が徹底できない。一度職員の中で万が一コロナに感染した場合、全員の濃厚接触者になるのではと不安になった。（特養）
- ⑪ 人手不足（特養）

<まとめ>

1. 資材不足：手袋・エプロンの不足（4ヶ所）

2. 具体的な指導機会の希望2ヶ所⇒訪問指導の実施
3. 認知症GH及び障害者施設での発生時対応が課題
4. 講話内容から具体的な取り組み課題が明らかになってきた。

⇒ **具体的なゾーニング・コホーティングについては訪問指導で対応します。**

要申込みをお願いします。